

福島民報

2011（平成23）年
 9月10日
 土曜日
 発行所
 福島民報社
 福島市太田町13-17
 （郵便番号960-8602）
 電話代表 (024) 531-4111
 編集局531-4119 広告局531-4153
 事業局531-4173 販売局531-4178
 購読のお申し込み
 0120-373437
 © 福島民報社 2011

特別栽培米・純米酒のバイオエテラ

自然郷

（株）大木代吉本店 福島県会津若松市町

福島民報ホームページ
<http://www.minpo.jp/>
 読者センター 0120-803344

超ミリニ20年間 年明けから本格除染

政府、11月に特別地域指定

政府は、東京電力福島第一原発事故による放射能物質の除染を直接実施する「除染特別地域」を十一月に指定し、年明けから本格的な作業に入る。九日、福島市で開かれた内閣府と環境省による除染に関する緊急実施基本方針の市町村説明会で、スケジュールを初めて示した。特別地域は、避難区域となっている年間平均放射線量が二〇ミリシーベルトを超える自治体の一部を対象となる見られ、より効果的な手法で作業を進めることにより避難者の早期帰郷の実現を図る。（三面に関連記事）

蕨尾、飯館（を想定し）来週から始まる除染作業の十二市町村で、作業を十一月まで

政府の除染スケジュール案

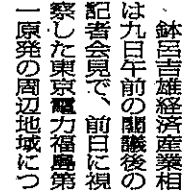
年間20ミリシーベルト超区域	年間1～20ミリシーベルト区域	緊急実施基本方針で対応
9月 ●12市町村（計画的避難区域、警戒区域）と調整開始 ●モデル事業実施場所の選定 ●モニタリング開始、実施計画策定 ●除染作業開始（手法の試行）	●市町村向け説明開始 ●国が除染支援開始	
10月 ●モデル事業実施（除染本格作業）	●市町村計画策定	
11月 ●モデル事業実施（除染本格作業） 除染特別地域の指定	●市町村による除染開始 汚染状況重点調査地域の指定	
12月 ●結果取りまとめ、検証 →ガイドラインに反映		
年明け1月以降 ●国の本格除染計画策定 ●国が本格除染開始	●市町村による除染の継続	特別措置法完全施行

継続し、地域ごとの除染手法を検証する。十一月の除染特別地域の指定後は、モデル事業の結果をまとめ、政府の除染ガイドラインに反映させる。来年一月の除染に関する特別措置法の完全施行に合わせ、政府は

地域に合った除染の方法や目標などを盛り込んだ除染計画を策定し、本格的に除染作業を進める方針。積み上げた放射線量が年間二〇ミリシーベルト以下の地域は、国が除染作業を進める方針。積み上げた放射線量が年間二〇ミリシーベルト以下の地域は、国が除染作業を進める方針。積み上げた放射線量が年間二〇ミリシーベルト以下の地域は、国が除染作業を進める方針。

除染に関する緊急実施基本方針の市町村説明会で示されたスケジュールは「表」の通り。政府は緊急実施方針に年間積算放射線量が二〇ミリシーベルトを超える区域（田村、南相馬、川俣、二〇〇〇〇〇の区域）と二〇〇〇〇〇の区域に分けて除染作業を進めることを盛り込んで

年間二〇ミリシーベルトを超える区域は、警戒区域や計画的避難区域などとなっている十二市町村（田村、南相馬、川俣、川内、大熊、双葉、浪江、



経済産業相 小堀 敏之

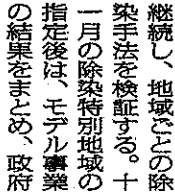
「原発周辺は死の町」政府、与党に進退論
 小堀大臣が九日夜、都内で記者会見し、前日に視察した東京電力福島第一原発の周辺地域について、「残念ながら周辺市町村の市街地は人の子一人いない『死の町』だった」と述べた。また、小堀氏が九日夜、都内で記者会見し、前日に視察した東京電力福島第一原発の周辺地域について、「残念ながら周辺市町村の市街地は人の子一人いない『死の町』だった」と述べた。

- 各省が要求した主な事業
- 復興・復興：福島第一原発事故の賠償資金となる交付国債の発行枠を2兆円から5兆円に拡大（要求額・3兆円）
 - 経産省：家庭用蓄電池などの導入を支援する省エネ補助金（2000億円程度）
 - 国交省：本県に再生可能エネルギー研究拠点を整備（1000億円程度）
 - 環境省：仮設住宅を退去した被災者が入居する災害公営住宅2万户を追加整備（2400億円）
 - 農水省：被災者が被害を被る家畜の搬去など災害廃棄物処理（4000億円程度）
 - 復興・復興：被災者に対する被災者生活再建支援金（2000億円程度）
 - 復興・復興：被災者に対する被災者生活再建支援金（2000億円程度）



厚生労働相 荒井 徳子

「原発周辺は死の町」政府、与党に進退論
 荒井大臣が九日夜、都内で記者会見し、前日に視察した東京電力福島第一原発の周辺地域について、「残念ながら周辺市町村の市街地は人の子一人いない『死の町』だった」と述べた。また、荒井氏が九日夜、都内で記者会見し、前日に視察した東京電力福島第一原発の周辺地域について、「残念ながら周辺市町村の市街地は人の子一人いない『死の町』だった」と述べた。



厚生労働相 荒井 徳子

「原発周辺は死の町」政府、与党に進退論
 荒井大臣が九日夜、都内で記者会見し、前日に視察した東京電力福島第一原発の周辺地域について、「残念ながら周辺市町村の市街地は人の子一人いない『死の町』だった」と述べた。また、荒井氏が九日夜、都内で記者会見し、前日に視察した東京電力福島第一原発の周辺地域について、「残念ながら周辺市町村の市街地は人の子一人いない『死の町』だった」と述べた。